

平成25年度予算見積調書

課室名：交通政策課

担当名：調査計画・3セク線担当

内線：2233

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B28	地下鉄7号線延伸線基本計画調査費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	地下鉄7号線延伸線基本計画調査費	
事業期間	平成14年度～	根拠法令	なし		戦略項目			
					分野施策	050202 便利な公共交通網の整備		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>運輸政策審議会答申第18号で計画に位置付けられた地下鉄7号線延伸線（浦和美園～岩槻～蓮田）のうち先行区間の浦和美園～岩槻間についてさいたま市と連携して具体的な検討を進めてきた。平成23年度には外部有識者からなる「地下鉄7号線延伸検討委員会」を設置し、これまでの調査内容を基に検討した結果、事業採算性や費用便益比などについて厳しい結果が示された。一方で延伸実現に資する方策が示された。このため、この方策のうち、まちづくり以外の方策について快速運転のような鉄道サービス水準の向上やコスト縮減などについての具体的な可能性の検討を進めるため調査を行う。</p> <p>(1) 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 6,000千円</p>			<p>(1) 事業内容 地下鉄7号線延伸線基本計画調査費 6,000千円 (調査予定事項) ア 快速運転実施に関する課題検討の深度化 これまでの課題検討で抽出した課題について鉄道事業者へのヒアリングを通じ実現可能性について検証する。 イ コスト縮減の検討の深度化 これまで検討したコスト縮減事例の導入時の効果を検証する。 ウ 資金調達方策の検討 地元出資、開発者負担、他公共事業との連携などの可能性を検討する。 エ 既設線利用拡大に向けた利用者ニーズの調査・分析 埼玉高速鉄道、埼玉スタジアム、イオン浦和美園店等の利用者の鉄道利用の意向調査及び結果分析をし、利用促進策の検討をする。 オ 将来のリスクケースの検討 神奈川東部方面線（相鉄・JR・東急東横線間の短絡線整備）開業時（平成31年4月予定）に、埼玉高速鉄道に乗り入れる車両編成が、現在の6両編成から増加となった場合の課題や、7号線延伸時に接続することとなる東武野田線岩槻駅との地下乗換通路が設けられない場合の課題の検討を行う。</p> <p>(2) 事業計画 25年度 快速運転実施に関する課題検討及びコスト縮減の検討の深度化、資金調達方策の検討、既設線利用拡大に向けた利用者ニーズの調査・分析、将来のリスクケースの検討 26年度～ これまでの調査結果を踏まえた検討ケースを設定し、需要予測モデルを更新し、需要予測並びに採算性及び費用便益比を試算する。</p> <p>(3) 事業効果 コスト縮減や資金調達などの観点から調査を行うことで地下鉄7号線延伸線の事業性の可否に向け検討が進む。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 さいたま市と連携して調査を実施する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額								
決定額	6,000						6,000	0
前年額	6,000						6,000	